



看護管理

次号予告

Vol.21
No.10
2011
September

09

特集

クリニカルパスを見直す

全国の多くの医療機関にパスが普及し、医療の標準化やチーム医療の向上が図られている。在院日数短縮、患者への説明ツール、医療機関同士の連携のため情報ツール、リスクマネジメントツールなどとして活用されるパスを、さらに効果的に推進していくにはどのような見直しが効果的なのか、ポイントとなる考え方は何かについて紹介する。

- 病院経営と医療の質の両立に不可欠な電子カルテとパスの統合を促す見直しとは 副島秀久
- 電子パスと紙パスに共通する見直しのホットポイント——急性期病院における課題 吹矢三恵子
- DPCにパスをつなげるための見直しのプロセスと成果 依田尚美
- 地域医療のあり方を一変させる連携パスの見直し——山形県下で進めている試みから 三原美雪

連載

● 看護×デザイン 医療の質を向上させるコラボレーション ● 文部科学省「看護師の人材育成システムの確立」紹介！ ● 実践交渉力講座 渡辺ゼミ基礎編 ● 管理者のためのブックセレクション ● 公論・私論 ● 患者の目線——医療“関係者”が患者・家族になって ● つらつらNPノート ● 看護と医療政策を考えるヒント ● やじうま宮子の看護管理な日々 ● おとなが読む絵本——ケアする人、ケアされる人のために ● 看護師長のためのわかりやすい病院経営基礎講座 ● グループ・ダイナミクスへの招待——本当に病棟を変えたい人のために

既刊 Vol.21 No.08 増刊号 (2011年7月発行)

特集1 東日本大震災への医療支援の記録

- 日本赤十字社の災害救護体制と東日本大震災における救護班の派遣 浦田喜久子
- 広域大災害における情報共有の実態と課題 池田由美子
- 石巻赤十字病院に支援の助産師、看護師、ER支援要員を派遣——大災害時の施設支援要員派遣体制の確立 大林由美子
- 石巻市赤・石巻看護支援要員に対するオリエンテーションの課題 池田由美子
- 福島県で活動するための拠点を つくる 村中千栄子
- 東日本大震災における現地対策本部でのコーディネーション 伊藤明子
- 3.11東日本大震災における日本災害看護学会の活動 山田 覚
- アメリカから災害支援活動に参加して NPコース修了者から見た現場 原田奈穂子

特集2 新人看護師長のための基礎知識——看護管理の3つの視点

特集3 医療安全 New Perspectives

編集後記

人生、予想外のことがばりです。仕事も計画を立てた通りに事が運ぶことはめったにありません。話は飛びますが、以前、スウェーデンの教師が講演でこんなことを言っていました。「教育とは、道を外さない事を教えるのではない。道から外れてしまった時どうすればよいかを教えるものだ！」目からウロコがボロ、ボロ、ボロっと3枚ほど落ちました。残念ながらそういう教育は受けてきませんでしたが、心に刻むべき言葉だと思います。(金子)

第13回日本医療マネジメント学会学術総会へ取材に行ってきました。そこで得た学びを特集に活かそうと意気込んでいたのですが、うまくまとめられず四苦八苦。H課長のように鮮やかに采配できるようになるまでの道のりは険しそうです。しかし諦めては試合終了。まずは、ご自身のお子さんほどの年齢の舞妓さん相手にこれまでにない笑顔をみせたり、AKB48の某さんのファンになるところから見習いつつ、千里の道を歩みたいと思います。(西窪)

看護管理 第21巻第9号

2011年8月10日発行 (毎月1回10日発行)

発行/株式会社医学書院 代表者/金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2011, Printed in Japan

定価1575円 (本体1500円+税5%)

2011年年々ぎめ予約購読料

・冊子のみ 18450円

・冊子+電子版 23500円

・電子版/個人 18450円

・電子版/共有 21230円

(いずれも税込、送料弊社負担)

「看護管理」編集室(担当 金子、西窪、早田)

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

Eメール kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

●定期購読のお申し込み先/医学書院販売部

TEL03-3817-5659

デザイン/中村圭介、小酒井祥悟、吉田昌平
(ナカムラグラフ)

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は、(株)医学書院が保有します。

JCOPY <(社)出版者著作権管理機構委託出版物>
本誌を無断で複製する行為(複製、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。

大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。複製される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された[0917-1355/11/¥250/論文/JCOPY]は、1論文1回複製につき250円を要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

●「読者からの声」を募集しています。職場などでのエピソード、問題提起、また弊誌への感想をお寄せください。掲載分には粗品を差し上げます。

Eメール kangokanri@igaku-shoin.co.jp

ツイッター http://twitter.com/kangokanri